

— “感動”が人をつくる —  
Culture  
Niigata

Culture Niigata

2017.12-2018.02  
vol.93

【平成29年11月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／明栄印刷(株)



見守っていてくれる、  
それが頑張る  
力になる。



# JA教育ローン

耕そう、大地と地域の未来。



NEXT STAGE  
—情熱の行方—  
元宝塚歌劇団月組組長 越乃リュウ

親子で楽しもう  
新潟イベント情報

—シリーズ—  
URAKATA [裏を語る](#)



## NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」今回は宝塚歌劇団退団後も、さまざまな分野で表現の幅を広げている新潟市出身の越乃リュウさんに、いま、そして未来への想いを聞いた。

元宝塚歌劇団月組組長  
越乃リュウ Ryu Koshino



## 舞台上で演じながら、ずっと夢を見ている

—宝塚音楽学校を受験したきっかけは？

実は私、高校2年生までバレエに夢中で、宝塚の存在を知りませんでした。そのバレエの先生に「一度でいいから、受けてみたら」と勧められ、宝塚音楽学校を受験することにしました。楽譜が読めなかったので音楽教室へ通うことになるのですが、当時は人前で歌声を披露することが恥ずかしくて、恥ずかしくて（笑）。そこで先生に「甘い!」と叱られ、ようやく私のなかのやる気に火が着き、本気モードに切り替えることができました。

—そして見事合格! 音楽学校での生活は?

演劇・ダンス・歌・ピアノのほか、日本

舞踊・三味線・茶道など幅広いジャンルの表現をがむしゃらに学んだ2年間でした。寮生活も舞台での連携を生む絆になる。すべてが舞台へとつながる濃密な時間でしたね。

—初舞台はどんな気持ちで迎えましたか?

あの景色はいまも鮮明に憶えています。新潟県民会館でバレエを踊ったことはありましたが、宝塚歌劇団は比べものにならないくらいの大舞台。幕が上がり、浴びたことのない強い光で照らされて、2,000名以上のお客様の前に「これから舞台人として生きていきます。よろしくお願ひします」と口上を述べる。余裕はまるでありませんでしたが、快感が体中を駆け巡り「ああ、私は舞台が好きだ!」と心から思いました。

—2008年には史上最年少で月組組長に抜擢されました。

まさに青天の霹靂で、驚きと戸惑いで頭が真っ白になりましたね。がんばってきたのは芸を磨くため、組長になるためではないのにといい気持ちもありました。そんなふうに迷っていたとき、演出家の先生に「監督じゃなく、キャプテンだと考えればいい」とアドバイスされて、その言葉に救われました。組長になってもみんなと同じように思いきり踊ったり、歌ったり、演じたい、その思いが強かったです。



バレエ発表会 アリの役

## 二度とないだろう 圧倒的な幸せを感じて

—宝塚歌劇団の公演で、とくに心に残っているものは?

選ばなければいけないとしたら、初舞台と退団公演。どちらも忘れられない光景です。退団公演は組長の立場で成長し続けられるだろうかという不安と、実力以上の役割を担っている充実感が入り交じる5年間を過ごした後、月組の後輩にバトンを渡そうと卒業を決意した時期ですね。

—その退団公演の忘れられない光景とは?

期間中はみんなに見守られ、愛に包まれた雰囲気の中かで公演を行うのですが、とくにすごかったのは千秋楽でした。劇場全体の空気がガラリと変わったんです。感謝と寂しさが溶け合ったような人々の感情の波が押し寄せてくる。でもそれは押しつぶされるようなものではなく、ほんわかとやさしく温かかった。「これほどの幸せは、二度は訪れないだろう」。それくらい圧倒的な感覚を味わうことができました。



## 表現すること それが私の生きる道

—退団後は、どんなふうにご過ごしていましたか?

最初は「やっと肩書きのない、自分自身に戻れる」とうれしく思っていたのですが…そんな気分は3日と続きませんでした（笑）。本名の自分には何も無いと思ひ込み、次の目標が見つけれずに燃え尽き症候群のようになってしまったんです。

—そんな時期があったんですね。悶々とした日々を、どう乗り越えたのですか?

突破口となったのは知人の言葉でした。私がスマートフォンで何気なく撮った画像を見て、「人とは違う、面白い切り取り方をするね」と言われて。それが心に引っかかり、写真の専門学校に1年間通いました。そこで「そうか、私は結局、表現者になりたいんだ」と改めて気づくことができました。人とは違う何か、私ならではの何かを、ずっと探していたのだと思います。

—宝塚歌劇団のOG公演「エリザベート」に出演したのは、その頃のことですか?

そうなんです。これも不思議なご縁ですね。本当にやりたいことがわかった途端、「舞台に出ませんか」というオファー



ミュージカル『—ARSENÉ LUPIN—』 左:越乃リュウ 右:龍真咲

©宝塚歌劇団



がくるのですから。そこで「私の生きる道は、表現者以外にない」という答えへと自然に導かれ、ふたつ返事でOKしました。  
—実際にその舞台に立っていかがでしたか？

生まれて初めて、魂が震えました。久しぶりに舞台袖に立つて、「これが新しいスタートになるんだ」とこの世界に戻ることができた喜びをかみしめ、また照明を浴びて胸が高鳴り、「この空間はなんて気持ちいいんだろう」と初舞台の感覚がよみがえったようにも感じられました。

—舞台上で演じる魅力とは、何でしょうか？

よく「夢を見せてもらいました」という感想をいただきますが、実は私も同じ気持ちなんです。メイクをして、衣装を身に着け、本気でその世界を生きる、演じる。そのときは舞台の魔法にかかって、まるで夢見心地です。私はその魔力に、完全に魅せられてしまったひとりなのかもしれません。

## 舞台の魅力とふるさとの魅力 その両方を発信したい

—今後、挑戦したいことはありますか？

舞台人として再スタートしてからは、これまでの迷いが嘘のように吹き飛び、どんな経験も役者としての糧になるから、よりさまざまなことに挑戦したいと思うようになりました。今年の夏には写真展を開催し、東京・京都・新潟と巡回しました。まっすぐ前を向いて歩き始めたい私の見てほしいと催したのですが、自分を振り返るいい機会にもなり、新しい気づきも得て興味深い体験となりました。

—もうすぐ、クリスマスコンサートも開催されますね。

新潟でコンサートを開くのは初めて。地元なので盛り込みたいことが多すぎてプログラムに悩みましたが、宝塚を知らない人も楽しめ、少しでも恩返しにすることができたらと考えました。コンサートだけでなく、これからは新潟の素晴らしさを私なりのやり方で発信していきたい。より芸を磨いて知名度を上げながら、新潟のことも一緒に知ってもらったり、足を運んでもらうきっかけをつくりたい。いまの私にとって、それが次に叶えるべき大きな夢になっています。

取材協力：NST 撮影協力：新潟日報社



### 公演情報

## 越乃リュウ クリスマス・コンサート

12/22(金) 18:30

りゅーとぴあ コンサートホール

出演：越乃リュウ、北村晶子(ピアノ)、佐野央子(コントラバス)、滝山清貴(ドラム)、羽咲まな(元宝塚歌劇団月組娘役)、美翔かずき(元宝塚歌劇団月組男役)  
曲目：愛の讃歌、リベルタンゴ、美女と野獣 他

料金 自由席 4,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟日報社 ふれあい事業部 025-385-7470  
NSTイベントインフォメーション 025-249-8878

## Question & Answer

Q. どんな子ども時代を過ごしましたか？

やんちゃでおてんば、とにかく元気な子どもでした。バレエが大好きで、ひまさえあれば飛んだり跳ねたりしていました。

Q. 新潟でのお気に入りの場所は？

雄大な信濃川の景色が好きです。あんなにも豊かな水量の川が街のまん中を流れている場所はなかなかない。信濃川を眺めていると、県民性とも重なって新潟をより愛おしく感じます。

Q. ふだん、どんな音楽を聴いていますか？

本当にさまざまです。ジャンルにはこだわりませんが、音楽のない生活は考えられないので、その日の気分で選んでいます。

Q. とくに好きな映画、または舞台はありますか？

ミュージカルが大好き。私は凝り性で飽き性なのですが、コーラスライン愛だけは宝塚に入る前、新潟で暮らしている頃から変わっていません。もう見過ぎて、完コピできるくらいです(笑)。



## 越乃リュウ

新潟市生まれ。高校2年生のときに宝塚音楽学校を受験し合格。卒業後の1993年に宝塚歌劇団へ入団し、長身を生かして男役に。2008年に史上最年少で月組組長に就任し、5年後に退団。退団後は京都・上賀茂神社式年遷宮一周年奉納イベントでプロデュース兼演者として出演するなど、舞台人そして表現者として活躍中。2016年より新潟市西区のかがやき大使を務めている。



### 美術展・写真展

## チームラボ 踊る!アート展と、 学ぶ!未来の遊園地

11/23(木・祝)~3/4(日) 新潟県立万代島美術館  
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 月曜、12/29~1/2休館 ただし、1/8は開館

チームラボ、アートと未来の遊園地が集結した新潟初の大規模な展覧会。大空間で展開されるアートから、体を思いっきり動かす未来の遊園地まで、最先端を走るチームラボの全貌とその魅力を体験することで、テクノロジーとアート、学びと遊びの本質を発見し、未来を切り拓くクリエイティブ活動に、自ら参加することになるでしょう。



クラフティネイチャー - 山と谷



花と人、コントロールできないけれども、共に生きる

料金 一般 1,400円 高校・大学生 1,200円 中学生以下 無料

お問合せ 新潟県立万代島美術館 025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、チームラボ新潟展実行委員会

### イベントなど

## 西山ふるさと公苑 クリスマスイベント

12/17(日) 13:30 西山ふるさと館



もこもこ毛糸のクリスマスツリーと、LEDキャンドルのキャニスターキャンドルを作ろう! たんぽぽコーラスのミニコンサートもお楽しみください!

料金 参加料 500円 (工作材料費含む)・11/30まで要申込

お問合せ 西山ふるさと公苑 0257-48-2839

### コンサート

## 市民アーティストコラボレーションシリーズ vol.17 0才から楽しめる クリスマスワンコインコンサート

12/10(日) 14:00 新潟市秋葉区文化会館

秋葉のコンサートによるこそ! 秋葉で活躍する演奏家が集い、0才のお子さまからシニアの方までが楽しめるバラエティに富んだプログラムでお届けします。



石丸涼子



加藤礼子

出演：石丸涼子(フルート)、加藤礼子(ヴァイオリン)、小山瑠美子(ソプラノ)、斎藤晴海(ピアノ)  
曲目：クリスマス・メドレー、ジブリ映画より、乾杯の歌 他

料金 全席自由 500円 ※3歳未満ひざ上鑑賞可、3歳以上有料。

主催・お問合せ 新潟市秋葉区文化会館 0250-25-3301



小山瑠美子



斎藤晴海

### ミュージカル・演劇・舞踊



## りゅーとぴあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 2018春季公演

3/17(土)~3/20(火) 時間未定  
りゅーとぴあ スタジオA

春のAPRICOTは、子どもたちの豊かな感性が存分に発揮された、フレッシュなエネルギーに溢れた作品をお届けします! 一人一人の表情や小さな息づかいまで伝わるのは、客席と舞台が近いスタジオ空間ならではの。ぜひ、ご家族でお楽しみください!



出演：APRICOTの子ども達

料金 入場無料(要申込) ※4歳未満入場不可

お問合せ りゅーとぴあ事業企画部 025-224-7000

APRICOT2017春季公演「お芝居探検隊2017」より  
【主催】新潟県、(公財)新潟市芸術文化振興財団、新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会



# 新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。  
会場に足を踏み入ると、そこは別世界。  
是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。  
次号vol.94は、2月下旬発行予定です。1/12(金)までに、3月～5月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。  
※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可場合があります。☺️託児ありの公演には託児室を設置します。(要予約)  
詳細については、各問い合わせ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。  
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

## コンサート

### +One コンサート vol.5

12/2(土) 14:00 西新潟市民会館

コンサートとミニ講演会で健康な人生を!「食品と色の関係」と題したミニ講演会の後は、美しく深い歌声で、日本歌曲からオペラの名曲までたっぷりご堪能ください。この機会にぜひ心と体の健康を見つめ直してみませんか。  
講演:丸山成子(管理栄養士・フードコーディネーター)  
演奏:鈴木涼子(メゾソプラノ)、東玄彦(バリトン)、斎藤晴海(ピアノ)  
曲目:ヘンデル/オンブラ・マイフ、マルティニー/愛の喜び 他



料金 全席自由 一般 2,000円 学生 1,500円(当日各500円増)

主催 にお問合せ いがた音楽の森 025-260-2603(小西)

## コンサート

### 水谷川優子 チェロリサイタル ~春待月の二重奏~

12/3(日) 13:30 三条東公民館

日欧で活躍するチェリスト、水谷川優子のリサイタルです。その音色は「心をノックするチェロ」と言われ、各国で高く評価されています。ゲストに東京フィルハーモニー首席の渡邊辰紀氏を迎え、「チェロ×チェロ」の響きをお届けします。  
出演:水谷川優子(チェロ)、渡邊辰紀(チェロ)  
曲目:バッハ/グノー/アヴェマリア、ピアソラ/リベルタンゴ 他



料金 全席自由 一般 2,500円 高校生以下 2,000円

主催 にお問合せ Enne倶楽部新潟 0256-33-9722

## コンサート

☺️託児あり

### アートステージ音楽祭2017《アートステージ妙高推進事業》 情熱のオペラ「カルメン」妙高スペシャルセレクション

12/3(日) 14:00 妙高市文化ホール

「前奏曲」や「ハバネラ」、「闘牛士の歌」など、一度は耳にしたことのある数々の名曲に載せて繰り広げられる、魔性の女カルメンと彼女に翻弄される軍隊の伍長ホセの愛と憎悪の悲劇、ピゼーの傑作「カルメン」をハイライトで上演します。  
出演:菊地美奈(カルメン)、村上公太(ドン・ホセ)、北川辰彦(エスカミーリョ)、伊藤晴(ミカエラ) 他



料金 全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円

お問合せ 妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

## イベントなど

### 第10回新潟出版文化賞 表彰式&記念フォーラム

12/3(日) 14:00 朱鷺メッセ 中会議室301

県民の皆さんが執筆した優秀な自費出版図書を顕彰する文学賞の表彰式と記念フォーラムを開催します。自費出版に関心がある方はもちろん、これから何かを始めようという方も、この機会にぜひ、ご参加ください。  
選考委員長: 新井満(作家・作詞作曲家)



料金 入場無料(要整理券・要申込)

お問合せ 県文化振興課 025-280-5139

【主催】新潟県

## ミュージカル・演劇・舞踊

### 糸魚川青年会議所50周年記念事業(糸魚川復興支援事業) ~オデュッセイア外伝~ ミュージカル「未来へつなぐために」

12/10(日) 13:30 糸魚川市民会館

昨年12月に大火に見舞われた糸魚川市。日常が戻りつつある一方、多くの市民が受けた傷は癒えることがありません。大火による多くの気付きを忘れることなく未来に繋いでいくため、糸魚川市民が立ち上がり、自らの手でミュージカルを制作しました。演者となり、スタッフとなり、糸魚川大火からの復興支援へと繋がるミュージカル。ぜひご覧ください。  
演出:台本:三浦安浩 作曲:飯田俊明  
総合芸術監督:渡辺直人



料金 全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円(当日各500円増)

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900

【主催】ミュージカル「未来へつなぐために」制作実行委員会

## コンサート

☺️託児あり

### 第5回北区うたの祭典 ~童謡シリーズ・ふるさと新潟の童謡(うた)~

12/17(日) 14:00 新潟市北区文化会館

第5回目のテーマは「ふるさと新潟の童謡」。子どもから大人までみなさんご存じの名曲ばかり。この機会にぜひご家族揃ってお楽しみください。  
出演:坂本和彦(指揮)、北区うたの祭典合唱団、北区少年少女合唱団、北区うたの祭典特別オーケストラ  
特別ゲスト:芹洋子



料金 全席自由 一般 3,000円 小・中学生 1,500円

お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

## コンサート

### 第九合唱演奏会

12/23(土・祝) 15:00 加茂文化会館

8回目を迎える東京交響楽団との第九合唱演奏会です。この度は「押見メモリアル加茂第九合唱団」を結成し、一昨年亡くなられた加茂第九合唱育ての親、押見榮喜先生を讃える内容となっています。  
出演:堀俊輔(指揮)、芳賀恵(ソプラノ)、押見朋子(アルト)、松原友(テノール)、三浦克次(バリトン)  
曲目:バッハ/ヨハネ受難曲第39曲「安らかに、聖なる歌よ」、ベートーヴェン/交響曲第9番二短調Op.125「合唱付」



料金 全席自由 一般 3,000円 学生 2,000円(当日各500円増)

お問合せ 加茂文化会館 0256-53-0842

【主催】加茂市

## コンサート

### うおぬま超劇シリーズ2017 スギテツ冗談クラシックコンサート

12/10(日) 15:00 魚沼市小出郷文化会館

「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ(=融合)させ、聴きだけでなく観て楽しいコンサートをお届けします。  
出演:杉浦哲郎(ピアノ・作編曲)、岡田鉄平(ヴァイオリン)  
曲目:剣のずいずいずっこころばし、犬のおまわりさんの運命、舞曲「いい日旅立ち」



料金 全席指定 2,500円 高校生以下 1,500円(当日各500円増)

お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

## コンサート

### 東京混声合唱団クリスマスコンサートin胎内

12/23(土・祝) 15:00 胎内市産業文化会館

楽しい雰囲気の中演奏会を行うことを目標に創立され、国内でも数々の賞を受賞している東京混声合唱団16名の編成によるクリスマスコンサートが胎内にやってきます。地元コーラスグループのみなさんとの共演も見逃せません。  
出演:佐々木新平(指揮)、巨瀬励起(ピアノ)、東京混声合唱団  
曲目:花嫁人形、となりのトトロ、サンタが街にやってくる 他



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)

お問合せ 胎内市産業文化会館 0254-43-6400

【主催】胎内市教育委員会

## イベントなど

### 渋谷駿シアターマジックライブvol.2 Silent Night

12/23(土・祝) 18:30 長岡リリックホール シアター

国内外で活躍する若きマジシャン渋谷駿が長岡に降臨です。渋谷駿の華麗なマジックとダンスで織りなすクリスマスに贈る奇跡の物語をどうぞご期待ください。  
出演:渋谷駿、KAHO 他



料金 全席自由 一般 3,500円 学生 2,500円

お問合せ オフィスエスツーアート 0254-37-2283

【主催】オフィスエスツーアート



**ミュージカル・演劇・舞踊**

**コンテンポラリーダンス公演『Limit』**

**12/24(日) 14:00 新潟市江南区文化会館**

テーマは『Limit』。「境界」「一線を越えるということ」、「限りある空間」、「極限まで…。今の世の中・自分の人生を生き抜いていくということ。言葉を超え、沈黙を超えた心と身体表現の芸術をご覧ください。



出演:安藤美和、伊藤知香、伊藤麻衣、押味真里菜、乙川かなえ、小林史佳、鈴木美桜、鈴木雄祐、西川洸史、庭山恵里佳、小倉藍歌、土田貴好

料 金	全席自由 一般 2,500円(当日500円増) 学生 1,500円
主 催 お問合せ	生きる舞踊団Nephrite 080-6783-2708(土田)

**コンサート**

託児あり

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団×千住真理子×牛田智大  
～ニューイヤー・プレミアム・コンサート～

**1/12(金) 19:00 新潟県民会館 大ホール**

千住真理子・牛田智大が揃うのは新潟公演のみです!音楽の都ポーランドを代表する歴史と伝統を誇るオーケストラが人気ソリストを迎えて贈るプレミアムコンサートをお楽しみください。



出演:千住真理子(ヴァイオリン)、牛田智大(ピアノ)、ヤツェク・カスプシク(指揮)、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

曲目:ショパン/ピアノ協奏曲第1番、メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 水短調 他

料 金	全席指定 S席 13,000円 A席 11,000円 B席 9,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	新潟県民会館 025-228-4481

【主催】TeNYテレビ新潟、(公財)新潟市芸術文化振興財団

**コンサート**

託児あり

**ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団  
ニューイヤー・コンサート2018**

**1/13(土) 15:00 上越文化会館 大ホール**

2018年の新しい年明けにふさわしい、伝統と格式、躍動感にみちた本場のワルツをお楽しみください。



出演:ヨハネス・ヴィルトナー(指揮・ヴァイオリン)、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団  
曲目:ヨハン・シュトラウスII世/喜歌劇「こもり」序曲、ワルツ「春の声」、ワルツ「美しく青きドナウ」他

料 金	全席指定 S席 8,300円 A席 6,200円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800 新潟日报社 ふれあい事業部 025-385-7470

【主催】NST、新潟日报社、上越文化会館、(公財)新潟県文化振興財団

**コンサート**

**Euphorbia 10th Anniversary vol.3  
「そして、大地へ」～マリンバづくし～**

**1/21(日) 14:00  
りゅーとびあ スタジオA**

新潟を拠点に精力的に活動を続けるEuphorbia。木の温もりで奏でる音楽を届け続けて、今年で10年目を迎えます。結成10周年記念コンサートの第3弾はマリンバに焦点を当て、ゲストの品田真彦氏とともに贈ります。



出演:本間美恵子(マリンバ)、市橋靖子(フルート)、川崎祥子(ピアノ)  
ゲスト:品田真彦(ピアノ)

料 金	全席自由 2,000円(当日500円増)
主 催 お問合せ	木の温もりの音楽 事務局 080-4511-7494

**コンサート**

託児あり

**新潟県中越沖地震10周年復興記念 柏崎市文化会館アルフォーレ5周年記念  
柏崎第九演奏会**

**1/21(日) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ**

中越沖地震の復興から10年を迎え、「復興のシンボル」アルフォーレで第九演奏会を開催します。公募による合唱団と県内ゆかりのソリストが、「歓喜」の歌声を響かせます。



出演:丸山嘉夫(指揮)、鈴木愛美(ソプラノ)、押見朋子(アルト)、内山信吾(テノール)、上野正人(バス)、柏崎フィルハーモニー管弦楽団、柏崎第九合唱団  
曲目:ベートーヴェン/劇音楽「エグモント」序曲、交響曲第九番 二短調「合唱付」作品125

料 金	全席自由 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主 催 お問合せ	柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010

**コンサート**

助成事業

**ジャズ@アルカディア・オーケストラ  
第3回定期演奏会**

**2/11(日) 14:00 見附市文化ホール アルカディア**

見附がいつも音楽で溢れている街、「見附をジャズの街に」を目標に結成されたジャズ@アルカディア・オーケストラ。生でジャズ・ビッグバンドを親しめるこの機会に、みなさまどうぞ足をお運びください。



出演:ジャズ@アルカディア・オーケストラ  
曲目:Corner Pocket、In the Mood、MoonLight serenade 他

料 金	全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円
お問合せ	見附市文化ホールアルカディア 0258-63-5321

【主催】ジャズ@アルカディア・オーケストラ実行委員会

**コンサート**

**合唱団NEWS 第20回記念演奏会**

**2/11(日) 14:30 だいしホール**

記念すべき20回目の演奏会になります。今回も新潟市出身の作曲家、佐藤さおりさんの曲を数多く歌うプログラムです。「聴き手」にも「歌い手」にも楽しい合唱をモットーに、ここでしか味わえない音空間をお届けします。



出演:金子央(指揮)、合唱団NEWS  
曲目:ビクトリア/O quam gloriosum est、新実徳英/卒業、山田耕祥/待ちぼうけ、佐藤さおり/無伴奏混声合唱のためのアルバムII 他

料 金	全席自由 一般 500円 小・中学生 無料 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主 催 お問合せ	合唱団NEWS 080-3535-0075(石川)

**美術展・写真展**

**有元利夫 版画の世界  
—中村 玄 コレクション展—**

**12/17(日)まで 弥彦の丘美術館 9:00~16:30**

主に岩絵の具を用い、静かな魅力にあふれた作品を手がけた天逝の洋画家・有元利夫。本展では、バロックなど音楽を好む彼の「音楽感」、幅広いジャンルの作品制作にも没頭した「作りたがり屋」としての世界を、版画、楽曲、プローチなどの作品を通して見つけます。



関連イベント  
ギャラリートーク  
12/2(土) 猪爪彦一氏 12/10(日) 中村玄氏 各日14:00  
ギャラリートーク  
12/3(日) 14:00  
出演:渋谷陽子(チェロ)、佐藤芳明(アコーディオン)  
曲目:有元利夫/ロンド 他

料 金	一般 300円 小・中学生 150円 未就学児 無料
お問合せ	弥彦の丘美術館 0256-94-4875

【主催】弥彦村、弥彦村教育委員会、弥彦の丘美術館

**美と文学の探索者 堀口大學展**

**12/2(土)~1/8(月・祝) 新潟県立近代美術館  
9:00~17:00**

(券売は16:30まで) 月曜 12/29~1/3休館 ただし、1/8は開館  
長岡ゆかりの詩人・堀口大學は、詩集「月光とピエロ」など多くの著書を刊行し、昭和の日本語を創造したといわれています。一方、長谷川潔やジャン・コクトーなど美術家との親交でも知られています。本展では貴重な遺品や美しい装幀本を通してその全貌を紹介します。



関連イベント  
講演会「堀口大學は、誰が育てたか」(要申込)  
12/3(日) 14:00 講師:堀口すみれ子氏(堀口大學長女)  
申込先:NPO法人ながおか未来創造ネットワーク 0258-39-2500  
講座「友情の双像と武石弘三郎」  
12/9(土) 14:00 講師:伊澤朋美(新潟県立近代美術館主任学芸員)  
講座「堀口大學と美しい書物」  
1/6(土) 14:00 講師:平石昌子(新潟県立近代美術館学芸課長代理)

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立近代美術館 0258-28-4111

**ミュージカル・演劇・舞踊**

12/16(土) 発売開始

**卵の中の白雪姫**

**2/24(土) 18:00・2/25(日) 14:00**

新潟市江南区文化会館

不条理劇作家、別役実の不思議なおとぎ話の世界を、夏に引き続き、新潟市江南区文化会館で開催します。物語のなかの卵や白雪姫を探すうちに、自分が、卵や白雪姫に語りかけられているような不思議な感覚に。大人も子どもも楽しめる音楽劇です。この機会にぜひ会場まで足をお運びください。



作:別役実 演出:大作綾

料 金	一般 1,000円 小・中学生 500円 一般+子どもセット 1,200円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	090-9015-0876(東城:とうじょう)

【主催】江南区演劇公演実行委員会

**秋の企画展「良寛の山本家展」**

**12/28(木)まで 良寛記念館**

9:00~17:00 (入館は16:30まで) 水曜休館

良寛の生まれた出雲崎の橋屋山本家は、たいへん文学を好んでいたことでも知られています。本展では良寛作品を始め、良寛生誕の山本家の人々の作品を一堂に展示して、良寛と山本家をご紹介します。



同時開催  
横尾深林人展  
～良寛を敬慕した越後の南画家～  
良寛を慕い、「越後最後の南画家」と呼ばれた、上越市出身の画家・横尾深林人の作品17点を展示します。

料 金	一般 400円 高校生 200円 小・中学生 100円
主 催 お問合せ	良寛記念館 0258-78-3115

**ワンダーランド近世新潟町**

**12/9(土)~1/28(日) 新潟市歴史博物館 みなとびあ**

9:30~17:00 月曜(祝日の場合はその翌日)、12/28~1/3休館

江戸時代にさかのぼる湊町新潟。近年発掘調査によって地下深くから江戸時代の陶磁器や屋敷跡などが見つかるようになりました。そうした考古資料と絵画や書籍などの歴史資料を合わせて見えてくる江戸時代の新潟町の繁栄を探ります。



関連イベント  
まちあるき「江戸時代の新潟町を訪ねる」  
1/27(土) 13:30~15:00  
参加費:300円(保険・観覧券等)  
コース:みなとびあ→広小路近世新潟町跡発掘地点→古町花街→西堀寺町→旧小澤家住宅→みなとびあ

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	新潟市歴史博物館 みなとびあ 025-225-6111



**-落谷虹児生誕120年記念-**  
**少女人気を二分した抒情画家・虹児と華宵**

**12/15(金)~2/12(月・振休)** にいがた文化の記憶館  
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 月曜、12/28~1/3、1/9休館 ただし、1/8、2/12は開館

2018年に生誕120周年を迎える新潟田市出身の落谷虹児(1898-1979)。少女雑誌を中心に活躍した抒情画家としての虹児に焦点を当て、大正末から昭和初期の雑誌などから当時の流行を振り返り、当時人気を二分した高島華宵とともに現代の「かわいい」文化の源流としての二人の画業を紹介いたします。



高島華宵「少女面報」表紙(1928年)個人蔵 落谷虹児「少女面報」表紙(1933年)新潟田市蔵

料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	にいがた文化の記憶館 025-250-7171

**パリに生きる新潟の作家たち**

**1/27(土)~3/11(日)** 新潟市新津美術館  
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、3/5は開館

フランスに拠点を置き、パリを中心に世界で活躍する新潟ゆかりの作家7名による展覧会です。彫刻、絵画、写真、デザインなど、それぞれ異なるジャンルで作品を制作する作家の個性と特色あふれる多彩な表現を紹介します。



原田哲男「スカイマウンテン」2000年 大理石

**関連イベント**  
**ギャラリートーク**  
2/11(日)、3/4(日) 各日14:00 申込不要(要観覧券)  
**ヴァイオリンとピアノのデュオリサイタル**  
3/4(日) 16:00 新潟市秋葉区文化会館  
一般2,500円(当日500円増)、学生1,500円  
出演:成嶋志保(ピアノ)、ニコラードトリクール(ヴァイオリン)



清水保樹「レンパル・リマール」2003年 油彩、カンパス

料 金	一般 700円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

**守れ!文化財**  
**-博物館のチカラ、市民のチカラ-**

**1/13(土)~3/21(水・祝)** 新潟県立歴史博物館  
9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

文化財は、誰が、どのように守っているのか。博物館はその役割を担っている機関として存在しますが、市民のチカラこそ重要です。博物館がどのように守っているのか。また自然災害発生に伴って、どのような活動をしているのか。文化財を「守る」という姿勢を知ってもらい、その意義を感じてみてください。



陸前高田市立博物館 地質標本整理作業(写真提供:若手立博物館)

**関連イベント**  
**講演会「博物館で守ること(仮)」**  
3/17(土) 13:30~15:00 定員150名(要申込)  
講師:半田昌之氏 ((公財)日本博物館協会 専務理事)

料 金	一般 510円 高校・大学生 200円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

**第19回 諸橋轍次記念館書初め大会**

**2/4(日)~2/25(日)** 諸橋轍次記念館  
9:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜(祝日の場合はその翌日)、12/29~1/3 休館

明治16年6月4日、下田村(現在の三条市)に生まれた諸橋轍次は、100歳で亡くなるまで生涯を通じて儒学・漢学研究に情熱を傾け、大漢和辞典編さんという偉業を成し遂げました。文学を愛し、郷里をこよなく愛した諸橋轍次博士の学徳を想い書初め大会を開催します。どうぞお楽しみに。



平成28年度 作品展

**作品募集**  
募集期間 1/4(木)~1/16(火) 必着  
部門・小学生・中学生・高校生一般  
出品料:小・中・高校生 1点 300円 一般 1点 500円  
※詳細はお問合せ先まで

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	諸橋轍次記念館 0256-47-2208

**村上華岳 生誕130年記念**  
**京都画壇の精華展**

**1/5(金)~3/17(土)** 敦井美術館  
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 日曜、祝日休館

村上華岳の生誕130年を記念し、京都で新日本画の創造に邁進した国画創作協会の土田麦僊、村上華岳、入江波光らをはじめ、師の竹内栖鳳や兄弟子の橋本関雪、後輩の徳岡神泉、福田平八郎らの名画36点を展示します。



徳岡神泉「春閑」 土田麦僊「鴛鴦図」

料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 小・中学生 200円 ※土曜日は小・中学生無料
主 催 お問合せ	敦井美術館 025-247-3311

**野口久光 シネマ・グラフィックス**

**1/10(水)~3/25(日)** 新潟市美術館  
9:30~18:00 (券売は17:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、3/22は開館

野口久光(1909~94)が長年てがけた映画ポスターは、日本デザインの金字塔です。野口はジャズの紹介にも努め、戦前・戦後のカルチャーシーンに貢献しました。映画ポスターなど魅力的な作品や、貴重な映像資料を展示し、魅力をたっぷりご紹介いたします。



野口久光 映画「大人は判ってない」ポスター 日本公開1960年

**関連イベント**  
**「第31回新潟ジャズストリート」本展会場でのライブ**  
1/20(土) 要観覧券(ジャズストリートのチケット持参で当日に限り無料)  
12:00~13:00 出演:HALF NOTE  
14:00~15:30 出演:若菜夫トリオ+星とよ子(アフタートークあり)  
16:30~17:30 出演:長沢好宏 Walk don't run with Noriko

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料 ※第31回新潟ジャズストリートのチケット提示で1/20限定無料(それ以外の日は200円引)
主 催 お問合せ	新潟市美術館 025-223-1622



平成29年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

**新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業**



**佐渡裕指揮**  
**シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2017**

**12/10(日) 15:00** 南魚沼市民会館 大ホール  
大人気の佐渡×シエナが南魚沼に登場!吹奏楽の超有名曲や心温まるクリスマス・ソングなど、特別なクリスマス・コンサートです。



出演:佐渡裕(指揮)、キョウ・ウォン・ハン(バリトン)、シエナ・ウインド・オーケストラ  
曲目:A.リード/アルメリアン・ダンス(全曲)、R.ジェイガー/シンフォニア・ノビリッシマ 他(予定)

料 金	S席 7,000円 A席 6,000円 高校生以下 3,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。高校生以下の入場券は、南魚沼市民会館のみでの取り扱い。
お問合せ	南魚沼市民会館 025-773-5500



**小川未明 朗読とフラメンコ**

**12/23(土・祝) 16:00** 上越文化会館 大ホール

上越市出身であり「日本のアンデルセン」と呼ばれる児童文学作家の小川未明作品を幅広い世代に親しみ感じてもらうための3ヶ年計画事業の2年目となります。俳優大和田伸也の朗読と上越市内の小学生による朗読や、日本トップクラスのフラメンコ舞踊団による創作フラメンコ(初演)を披露します。  
朗読:大和田伸也・大手町小学校6年生  
出演:鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団



創作フラメンコ「赤い風情と人魚」より 写真/川島浩之

料 金	全席自由 2,000円 高校生以下 500円 ※4歳未満入場不可 4歳以上要チケット。(予定)
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800



**シエナの響きシリーズ(シエナ・ブラス5)**

**1/28(日) 13:30** 上越文化会館 大ホール

日本で一番人気の吹奏楽プロ集団、シエナ・ウインド・オーケストラの小編成コンサート。金管のアンサンブル・ワークショップも実施。テクニクを高める事で音楽の面白さをより感じ、地域全体の音楽が華やぐことが期待されます。  
出演:シエナ・ウインド・オーケストラメンバー



料 金	全席自由 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800



**N響メンバーによる弦楽四重奏**

**12/16(土) 14:00** 燕市文化会館

**12/17(日) 13:00** 柏崎市文化会館 アルフォーレ

ゲスト・コンサートマスターに永峰高志を迎え、クラシックの名曲や映画音楽、宮崎アニメなど多彩にお届けします。



永峰高志写真/©Naoko Nagasawa

出演:永峰高志(元N響第2ヴァイオリン首席奏者)、船木陽子(ヴァイオリン)、飛澤浩人(ヴィオラ)、村井将(チェロ)

料 金	全席自由 2,000円(当日500円増) 中学生以下 無料(要入場整理券) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	燕市文化会館 0256-63-7002 柏崎市文化会館 0257-21-0010



**かがみのかなたはたなかのなかに**

**1/7(日)・1/8(月・祝) 各日14:00** りゅーとびあ 劇場

合わせ鏡の中の自分、うまくいかない恋、はがれ落ちない孤独感... 未来のおとなど、かつての子どもたちへ向けておくりする、少しビターで、少しファンタジックで、そして少しアイロニカルな物語。  
作・演出:長塚圭史 振付・音楽:近藤良平  
出演:近藤良平、首藤康之、長塚圭史、松たか子



撮影:谷古宇正彦

料 金	大人 5,000円 子ども(小学生~高校生) 2,000円 親子ペア 6,000円 U25シート 2,500円
お問合せ	りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521



2018年1月配付予定

**開館25周年記念公演**  
**市民ミュージカル『夏の夜の夢』プレビュー公演**

**2/4(日)** 見附市文化ホール アルカディア

2018年見附市文化ホール開設25周年記念事業のひとつ、市民ミュージカル『夏の夜の夢』の創作準備として、舞台俳優に必要な発声、表現技術を学び、プレビュー公演を開催します。



料 金	入場無料(要入場整理券)
お問合せ	見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321



平成30年度文化活動支援助成事業募集

県民の皆様の自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな文化活動の創造を願って、音楽、美術、演劇、舞踊、文学、映画、生活文化などの下記対象事業に対して支援活動を行っています。

事業区分	対象事業	助成金	平成30年度申請期間
県民文化活動推進事業	自主企画による文化事業で県民の文化に対する関心を高め、日常の文化活動を活発にする事業 (平成30年4月～平成31年3月開催分)	助成対象経費の1/3 (上限100万円 下限10万円) ※ただし、助成対象経費から入場料、参加料、補助金、助成金等の収入を控除した額を上限とする。	平成30年 2月1日(木) ～ 2月13日(火)

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 事業課  
TEL : 025-228-3577 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

平成29年度文化活動支援助成団体決定

平成29年度国民文化祭参加事業は下記の通り決定しました。

事業区分	申請団体名	所在地	事業名	開催日	会場
国民文化祭参加事業	新潟県かるた協会	三条市	第32回国民文化祭・なら2017 小倉百人一首競技かるた全国大会	10月7日、8日	ジェイテクトアリーナ奈良
	新潟万代太鼓振興会	新潟市	第32回国民文化祭・なら2017 太鼓の祭典	10月15日	やまと郡山城ホール

ご寄付をお願いします

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」を年4回発行しています。



新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触れることのできる機会を提供します。



県内の文化団体等の事業を支援しています。

財団では、昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援させていただき、事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただき、寄付制度を創設致しました。何卒、財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただけますようお願い申し上げます。なお、財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 総務課  
TEL : 025-228-3700 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

Culture Niigata

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団  
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818  
E-mail jigyouni@niigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp>  
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。



— シリーズ —  
**URAKATA** 裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

新潟県民会館 施設チーフ  
新潟照明技研(株)

菊地 晃一

新潟県民会館 舞台責任者  
新潟照明技研(株)

田村 覚

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため、ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第十回目は新潟県民会館の「ホール管理」に携わる、新潟照明技研の菊地晃一さんと田村覚さんに話を聞いた。

安全と演出のはざままで  
代替案を模索する

当然のことながら、舞台芸術を表現するにも鑑賞するにも、人を収容するための「箱」が必要となる。今回登場する菊地晃一さんは、今年で50周年を迎える新潟県民会館の施設チーフ、田村覚さんは同じく舞台責任者としてホール管理に携わっている。

「主催者との事前打ち合わせを通して、各演出の実現に向けた助言や提案をしながら、当日のイベントをよりよいものするのが私たちの役目です。また舞台や客席で事故がないよう、点検やメンテナンス計画を立てるなど安全面にも日々注意を払っています」

そう教えてくれたのは、田村さんの前任として10年間舞台責任者をしてきた菊地さん。2002年からは長年の経験を評価されて舞台、設備、警備、清掃、貸し館など施設全体の管理を任されている。

いわゆる「管理人」をイメージすると、むずかしい技術はいらんじやないかと誤解しそうになるが、ここは大掛かりなセットが生まれ、音響や照明で場の雰囲気をつくり出し、演者がステージ上を縦横無尽に歌い踊る世界。事前の打ち合わせでは、演出内容によって頭を悩ませる事態が出てくる場合もある。

「舞台は空間だから高さや広さはもちろん、セットを吊り

下げるバトンや床など設備の耐荷重、強度面に限界があります。一方芸術表現は自由で制限がありません。主催者は演出重視、私たちは安全第一とそれぞれ役割がありますが、観る人の気持ちを考えると主催者の要望をできる限り叶えるのも私たちの務めだと思っています」

ホール管理の舞台責任者に就任して今年で15年の田村さんは、仕事への真摯な想いを口にする。ステージの床を例に説明すると、重量ルールを厳密に守るあまり大事な場面がカットされるなら、コンパネ(合板)で重さを分散したり、床下から支えて補強するなどして、演出を生かすための代替案を知識と経験を駆使して導き出す。

『『駄目』とか『無理』というのは簡単です。でも一公演一公演に企画した人、演じる人、チケットを購入し首を長くしながら待っている人たちがいる。そのみんなの気持ちがひとつになる特別な一日だと捉えれば、安全安心だけでなく、イベントを最高に楽しんで帰っていただくために尽力する、それが一番大切だと気づきます」

菊地さんの言葉からも、その特別な時間を支えるスタッフの一員だという誇りを感じる。「ホール管理」は貸す立場で主催者と向き合うのではなく、お互いに信頼しながら、いっしょに舞台をつくり上げていく仕事なのだ。

「私たちがこの設備に詳しいからアドバイスするだけ。立場は違えど目的は同じなんです。いい関係が築けたときは、公演後お礼の手紙が届くこともあります」と菊地さん。そんな達成感がやりがいにつながっている。



# 企画する人、演じる人 観る人の気持ちが一とつになる 特別な一日のために力を尽くす

催物がない日は、お客様に気持ちよくホールを利用していただくため日頃から備品などの手入れを怠らない。

## プロ意識に感銘を受けた 終演直前の出来事

50年もの歴史を持つ新潟県民会館では、大改修が二度行われている。といっても前回の設備改修から約30年も経っているため、設備の不調や故障がないかなど、同館施設の責任を担う菊地さんの心配は尽きないようだ。

「もしも冷暖房がきかなくなったら貸出し不能や公演の中止につながるし、緞帳が下りなかったら興ざめでしょう？ もちろん事故が起こらないように、点検計画を確実に実施しながら、日々不具合がないか気を配っています。さらに本番中に地震や火災が起きる可能性もゼロではありませんから、約1,700名ものお客様をどう安全に、スムーズに避難させるかをつねにシミュレーションしておかないと」

災害のなかでも火災は館内の巡回である程度防げるが、いつ発生するかわからない地震だけは人の力で防ぐ術がなく、瞬時に状況を判断し、その場でどう対応するかを迫られるだろう。実はそんなヒヤリとする出来事が一度だけあった。2007年の中越沖地震の余震が、「劇団四季」の公演中に会場を襲ったのだ。

「タイミングとしては終演5分前。クライマックスを迎え、最後のダンスシーンのまっ最中でした。私たちは袖で緞帳

のスタンバイをしていたのですが、震度3強くらいの揺れがあったので、まずは奈落や綱元など特に危険な箇所を、そして客席、キャスト、スタッフの安全を確認しました。でもその間もずっと、キャストはそのまま踊りつづけていたんです。床が揺れていたにも関わらずですよ。舞台上で演じるプロの気概に圧倒されましたし、感銘を受けました。あれは忘れられない体験でした」

揺れはおさまり観客の様子も落ち着いていたため、物語は止まることなく、人々を魅了したまま無事に幕を下ろしたのだった。

## 現場経験のすべてが 未来の自分の力になる

この仕事に就くために必要な資格はない。高校を卒業してすぐに入ってくる人、舞台芸術について学ぶ専門学校や大学を経ている人など経歴はさまざまだが、結局は現場で揉まれながら一人前になっていく。

「右も左もわからないのは当たり前。でも新人には何でも質問できる強みがあります。だから落ち込まず、変なプライドや遠慮は捨てて、新しい技術や知識を素直に取り込んでいってほしい。そうすれば自然と自分のものになるし、チームワークも培われます。舞台はひとりで何とかできる世界ではないので、仲間との信頼関係や連携も重要

です」と田村さん。

「私自身この職種を強く望んだわけではありませんでしたが、開館当初からいらっしゃった県職員のみなさんが、舞台だけでなく施設管理や修繕、予算取りのノウハウまで私に教え込んでくれました。重責に苦しんだ時期もありましたが、そのすべてが今の自分をつくっていると感ぜます。関心事だけに特化せず、その周辺も幅広く勉強しながらスキルを上げていくと、最終的にそれが自分に返ってくるんじゃないかな」と菊地さんも続ける。

ふたりが所属する新潟照明技研にとって、いつしか同館はホール管理者の養成所のような場所になった。何年か先輩のもとで基礎を学んで修業したあと、多くの同僚たちがここでのキャリアを生かし、県内の新しくできた施設で活躍しているという。

「この業務ならではの面白さがもうひとつ。それはリハーサルに立ち会える時、観客第一号になれること。初めて聴くバイオリンの美しい音色に息のみ、太鼓が生み出す音の波に背筋がゾクゾクするほど感動し、パレリーナたちの白鳥のように優雅でしなやかな舞いに心奪われる。そんな瞬間を何度となく味わえるのも、イベントホールで働く醍醐味といえるでしょう。実感から得たライブの素晴らしさを発信ながら、よりオープンで魅力的な施設運営をめざしていきたいと思っています」

次号-シリーズ-URAKATAは舞台字幕にスポットをあてます。



新潟県民会館 施設チーフ 新潟照明技研(株) **菊地 晃一**

1980年、新潟照明技研(株)へ入社。2年後、新潟県民会館のホール管理業務に携わる。その後舞台責任者、施設課長代理などを歴任し、現在にいたる。

新潟県民会館 舞台責任者 新潟照明技研(株) **田村 覚**

1990年、新潟照明技研(株)へ入社。新潟県民会館勤務となる。その後音楽文化会館や市民プラザでのホール管理業務を経て、2002年より新潟県民会館の舞台責任者に就任する。

### 公演情報

#### 「新潟県民会館 50周年記念祭」

12/17(日)新潟県民会館  
入場整理券の申込みが定員に達しましたので受付を終了しました。  
※詳しくは <https://n-story.jp/bunkasai> をご覧ください。